



好きな理由は？

和歌山市に赴任してきたのが約10年前。それまで岩出市や紀の川市の小学校で担任をしてきました。もちろん1年から6年生まで経験済み。それなりの失敗を乗り越え、それなりに自信を持って仕事にいそしんできましたが、教頭になって和歌山市に来てからは驚きの連続。おぼろげながらに教頭職の内容はイメージしていましたが、現実はなかなかどうして…。ウソみたいな話(笑い話?)もありましたよ。

「教頭先生、学校の〇〇の鍵はどこですか？」

と、真面目な顔で聞いた本人は、何年も四箇郷にいた者。聞かれた自分はまだ2ヶ月。これ都市伝説なんかではなく本当の話。

『地域と共にある学校』『地域に根差した学校』e t c…。そんなことをあちこちで目にしたり耳にしますが、結論から申し上げるとその通りだと断言しましょう。去年の一年間だけでも、この四箇郷の地域の方々が、子どものために自分の時間と労力をどれだけ使っていたか。もちろんそれは、育生会の役員や図書ボランティアの方々も同じで、これを読んでいる大勢のみなさんが知らないところで、知らない時間に活動していたわけです。

No Image

No Image

ものの仕組みや事柄の道理を知らない者がしたり顔で語る姿。若い頃の自分は、正にそれを地で行く人間でした。しかしながら、何も知らない何も出来ない者を、地域や学校で育ててやろうという雰囲気は、この四箇郷では確かに感じられました。数年たって戻ってきたときに、知っている地域や保護者の方に会ったとき、本当にうれしくてどれだけほっとしたことか…。多くを話さなくても理解しあえるからというのは、自分勝手な気持ちかもしれませんが。

先日、育生会の総会がありました。自治会関係も新年度がスタートしています。それら役員の方々、前向きに考えられる方ばかり。だから一緒にいると楽しいのです。だから四箇郷が好きなのです。